

生駒市緑の基本計画改定懇話会 第2回全体会 議事要旨

1. 日 時

令和7年3月17日(月)14時00分～16時20分

2. 場 所

生駒市役所 302会議室

3. 出席者

【参加者】久隆浩、下村泰彦、松本光朗、木村篤信(オンライン)、田村康一郎

【事務局】みどり公園課 米田部長・巽課長・高橋課長補佐・深瀬、(株)ヘッズ 田中・稲熊・岡本

4. 傍聴者

なし

5. 議事要旨

(1) 開会

・担当課より挨拶

(2) 出席者紹介

・事務局より出席者を紹介

(3) 案件

・座長により進行

・緑の基本計画の改定について資料説明を事務局から行い、その内容について意見交換

① 第1回全体会の振り返りおよび修正点について

●緑の効果・機能

・国などが示している公園緑地の効果についても拾い上げておく必要があるのではないか。

●社会情勢の変化の捉え方

・縮減社会とネット社会といった更に前段の大きな社会変化を捉えたうえで、カテゴリ分けや並べる順番、SDGsについてどこで述べるかなど、社会情勢の変化を再整理していただきたい。

・農業社会、工業社会、情報社会という大きな社会変化の中で、緑が担ってきた役割が今後どのように変化していけば良いかについてのストーリーが見えれば良い。協創もそのストーリーの中で語ると、重要な柱になってくるはずである。

⇒社会情勢の変化の捉え方について、全体の構成を再整理し、修正する。

・生駒市における“賑わい”は、都心部で見られるような商業施設の導入による賑わいではなく、里山や公園に人が集まり繋がりが生まれる“交流”が重要なのではないか。

⇒「(7)公園緑地やオープンスペースの活用や多様な主体との連携」では、生駒市の場合は最初に来るものは都心部のような賑わいづくりではないため、表現を含めて本市での捉え方について再考する。

●計画改定全般について

- ・市民にどのような関わり方があるのかといった緑との関わりしろに関する部分と、行政が担う部分を明確にして計画に書き込んでいただきたい。
- ・緑地の保全や維持管理が、市民のどのような生活の豊かさに繋がっているのかというメッセージが、計画の中に込められると良い。
- ・今までと同じような財政投資をできなくなっている中で、公園緑地の適正な再配置や、公園施設や樹木の管理密度を下げていくような物理的な手立ても考えていけると良い。
- ・緑の維持管理を、市民や、P-PFI制度や指定管理者制度によって民間事業者等にも任せていくという話になると思うが、市役所と調整する場をしっかりと設けていくことが必要となってくる。
- ・市民の意向をどのように汲み上げながら公園緑地や自然緑地保全に繋げていくのか、その筋書きを緑の基本計画の中で書いておくとう良い。

② 市民アンケート調査について

- ・暑熱化している中で、アンケート結果では緑があって欲しいという意見が多かったことを踏まえ、社会情勢の方でもそのことがもう少し伝わると良い。
- ・アンケートの解析は、計画や今後の施策展開に活かせる内容に絞って、戦略的に分析していただきたい。
- ・何パーセントの人に里山活動に参加してもらえることを目標とするのか、行政側の想定を持っておく必要があるのではないか。
- ・地権者と地権者ではない人の意向の違いが分析で抽出できるか検討いただきたい。

③ 基本理念、将来像、基本方針(案)について

●基本理念について

- ・社会情勢や課題の整理の見直しに伴い、基本方針の内容も見直し、再整理、共有が望まれる
- ・大きな社会の転換に対して、生駒市としてどう向き合うかを基本理念に入れておくとう良い。
- ・協創のニュアンスがもう少しあっても良い。緑との関わり、緑を介した関係人口というところがキーワードになるのではないかな。
- ・全て市民の手で課題に向き合っていくことに限界があることにも、言及が必要ではないかな。
- ・市民や利用者に理解していただき、共に歩んでいくことが表現されたキャッチフレーズが良い。

●将来像について

- ・今後10年間の中で都市構造の改変の可能性がないのか、確認が必要である。
- ・防災、景観保全、レクリエーション、環境保全について、特化して書いておくべきところがあれば、盛り込んでおいた方が良い。

●基本方針について

- ・「緑の整備・維持管理」の語呂が悪い。「緑の整備」とし、整備には維持管理も含むことを説明するとよい。
- ・基本方針3は、里地里山等の新たな活用を、いかに多様化していくかがポイントになるため、その視点で文章を整理していただきたい。
- ・「協働による取組みの推進」は、本文の内容に合わせて適切なタイトルへの変更していただきたい。

6. 閉会

- ・事務局より今後の案内

以上